



©兵庫県 2007

市町老連の活動報告

会員自身のためになり、かつ、地域に貢献する事業

コロナに負けない活動を展開

令和4年6月24日(金)、神河町「はにおか運動公園」グラウンドにおいて、町老連主催の「親睦グラウンドゴルフ大会」を開催しました。



町老連の親睦グラウンドゴルフ大会

例年、県大会の予選会を兼ねた大会として開催をしていますが、昨年、一昨年とコロナ禍の影響で10月開催を余儀無くされ、この時期の開催は3年ぶりとなります。

今年度は予選会との位置づけもあり、選手の参加が前年度を上回るなど力の入った大会となりました。

昨年度は、あらゆる事業が延期、縮小、中止となる中で初めて県老連会長の講演とピアノ演奏を中心とした講演会を開催するなど、コロナウイルス感染拡大を見据えながらも、出来る限りの事業実施に向けた取り組みが出来たと思っています。

今年度、町老連の最初の事業であるグラウンドゴルフ大会が開催できたことを契機として、コロナウイルス感染対策に取り組みながら、コロナに負けないとの気概で、更なる事業展開を図りたいと思います。



ウォークラリー大会

養父市老連も例外なく、単位クラブの脱退や会員の減少が止まりません。

日々の活動の中から、一人でも多く仲間を増やしたい思いで活動しております。

活動指針は、「会員自身のためになる。かつ地域に貢献する事業」ということでしょうか。

会員の健康づくりや交流として、グラウンド・ゴルフ大会、ウォークラリー大会の開催。さらに、フレイル予防教室、口腔衛生、頭部の健康体操等実施し、リーダー研修会は、市や病院等の専門職を講師に招きました。

高齢でも多様な方面に関心や興味を持つことは大切と考え、役員視察研修を実施し、播磨科学公園(佐用町)のスプリング8で先端科学に触れました。

各単位クラブでは神社、公会堂、公園等の定期的清掃、学童の通学の見守りや世代間交流による技(わざ)の伝承等、地域での存在感を高めています。

兵庫県からのお知らせ

災害が発生するたび、高齢者など避難に特に配慮を要する方へ被害が集中しています。令和2年7月豪雨では、犠牲になられた方の約8割が高齢者だったと報告されています。一人ひとりが、「自分の命は自分で守る」意識を持つことが大切です。

県では県老連と連携し、防災ピアリーダーの任命や地域の防災ワークショップの開催等を支援しています。自分は大丈夫という思い込みは禁物です。普段から、避難先や経路の把握、非常持ち出し品の準備、いざという時に助け合う人との連絡の取り方などを確認しておきましょう。そして災害のおそれがあるときは、早期避難を徹底して命を守りましょう。[防災支援課]

警戒レベル3で危険な場所から避難!

学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。今いる場所が安全か、どこへ避難するのが良いか、すぐ判断ができるよう、普段から避難行動について考えておきましょう。

問い合わせ先 兵庫県危機管理部防災支援課 078-362-9870

一人ひとりが防災の意識を持って

Infographic showing disaster warning levels (警戒レベル) from 1 to 5, with corresponding actions and information. Level 5 is 'Emergency Safety Assurance', Level 4 is 'Evacuation Instructions', Level 3 is 'Evacuation for the Elderly and Others', Level 2 is 'Heavy Rain/Flood/High Tide Warning', and Level 1 is 'Early Warning Information'.

スポンサーの皆さまへ

このたびは、のじぎくクラブ兵庫が発行する「きずな」への広告掲載を賜り、誠にありがとうございました。私たち老人クラブは、高齢者の幸せづくりと地域貢献を目標に、健康と友愛、そして奉仕の精神をもって、これからも積極的な活動を行ってまいりますので、今後ともますますのご支援をお願い申し上げます。 のじぎくクラブ兵庫

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています

きずな



第212号

・養父市老連
・神河町老連
・兵庫県からのお知らせ

次号は
3月
発行です